

神話伝説の山里

「高千穂郷」通信



平成18年2月号

(宮崎県西臼杵支庁)

NO.38



ふるさと林道
「上岩戸線」
開通

平成18年2月14日に開通した「上岩戸大橋」



橋名板は上岩戸小学校の児童の皆さんに書いていただきました。



渡り初めでは上岩戸地区と隣接し、交流を続けている大分県豊後大野市緒方町長谷川地区の方々が、伝統芸能「白熊(はぐま)」を披露されました。

ふるさと林道「上岩戸線」(県道緒方高千穂線と県道岩戸延岡線を連結する路線)が完成し、2月14日に開通式が行われました。

本路線の開通により、森林資源の利活用や国土保全機能の維持増進はもとより、小学生の通学路等住民生活の環境改善や観光振興など、地域の活性化に大きく寄与することが期待されます。



関係者によるテープカットとくす玉割り



上岩戸大橋の橋桁の中に、上岩戸小学校の全児童26名が上岩戸線の開通を記念した文集などを入れたタイムカプセルを収納しました。開封は10年後の平成28年1月3日14時。

「上岩戸線」の概要

全体延長	646m
総事業費	32億2千2百万円
工事期間	平成7年度～平成17年度

「上岩戸大橋」の概要

形式	4径間連続PCラーメン箱桁橋
橋長	410m(林道橋としては日本一)
水面からの高さ	122m(林道橋としては日本一)

森林セラピー基地候補地 第2回 全国サミットin日之影

森の癒し効果を活かし、健康増進やリハビリテーションに役立てる「森林セラピー（森林療法）基地・ロード」の候補地に選ばれている日之影町において、2月25～26日に日之影中学校体育館をメイン会場に開催されました。主催は、日之影町、林野庁、(社)国土緑化推進機構、森林セラピー研究会。

全国の候補地、今後モデル地域を目指す市町村や団体の関係者等、県内外から約700人が参加。

式典は、日之影町の大人神楽保存会の神楽「東西」で幕を開け、森林セラピーに関する各分野の専門家3名による講演やNPO法人地球元気村のトークショー等が行われました。



「地球元気村コーナー～わたしの好きなセラピー・メニュー～」と題したトークショーを行ったNPO法人地球元気村村長風間深志さん(右)と同村特別講師で女優の吉本多香美さん(中央)。

森林の5つの楽しみ方については、吉本さんは「耳をすませよう 見つめてみよう 深呼吸してみよう 何も考えない 汗をかこう」、風間さんは「Where Walking Warning Watching Wonderful」をテーマに楽しみ方を紹介されました。



フィナーレでは、日之影中学校の生徒50名が、風間さんらとともに地球元気村のテーマソング「地球の元気」を合唱



メイン会場となった日之影中学校

(講演 - 3)
「森林セラピーのフィジカル・メニュー」
～理学療法の視点から～

理学療法士の視点から、森林セラピーと理学療法との融合の方策について講演。
歩行訓練(運動)は手軽に始められ運動効果も証明されている。森林の恵みの中でリハビリを行えば、さらに効果がある。



日本理学療法士協会副会長 佛教大学教授 日下隆一さん

(講演 - 2)
「森林セラピーに必要な視聴覚メニュー」
～セラピー効果を持つ森林環境の映像要素～

森林セラピー研究会と九州大学の共同研究について紹介。自然風景の映像を見せて、人体の生理反応を測定した結果、「快」を導き出す映像の仮説要素として「色」と「動き」が導かれた。



ソニーPCL株式会社 副社長 河野 透さん

(講演 - 1)
「魅力的な地域ブランドとするためのセラピー・メニュー」

旅行業の観点から、森林セラピー療法の旅行的展開(地域振興)について講演。
現在、健康志向、癒し指向が高まる中、史跡や古道、自然を楽しみながら巡る「観歩型ウォーキング」が注目を浴びている。



近畿日本ツーリスト株式会社国内旅行部 部長 津上俊治さん

「ワークショップ」

26日は、全国ネットワーク会議のメンバーが、日之影町の「森林セラピーロード候補コース」を歩いてワークショップを行いました。

その後、石垣茶屋において、(独)森林総合研究所の香川隆英氏が「セラピー基地・ロードデザイン」について、厚生労働省大臣官房参事官の梅田勝氏が「森林セラピーと健康づくり」について講演されました。



森林セラピーロード候補コースを散策する参加者

森林セラピー基地候補 全国ネットワーク会議」

25日の午前中は、全国サミット式典に先だって全国の「森林セラピー基地候補」に名乗りを挙げている候補地によるネットワーク会議が行われました。

会議では、「基地・ロード認定後の取組」や「森林セラピーの今後の推進方法」について話し合いが行われた後、長野県上松町と長野県信濃町から事例発表がありました。



森林セラピー基地候補 全国ネットワーク会議」

平成17年度県農産園芸特産物総合表彰式

県では、農家経営の向上と農業の一層の発展に資するため、農産、野菜、花き、果樹、茶、葉たばこの6部門について優秀な成績を収めた農家及び団体の表彰を2月9日に宮崎市で行いました。



安藤知事と記念撮影する受賞者

西臼杵地区の知事賞受賞者は次のとおり。

良質良食味	普通期水稻の部	優等	江藤誠一(高千穂町)農政局長賞
野菜共進会	個人の部	1等(ミニトマト)	甲斐秀實(五ヶ瀬町)農政局長賞
"	"	2等(トマト)	佐藤五夫(高千穂町)
花き共進会	個人の部	1等(ホオズキ)	河野一郎(日之影町)農政局長賞
茶共進会	製茶品質部門(かまいり製玉緑茶)	1等	飯干英雄(高千穂町)農政局長賞
"	"	2等	宮崎亮(五ヶ瀬町)県茶業協会会長賞
"	"	3等	甲斐和幸(高千穂町)
"	産地賞(かまいり製玉緑茶)		高千穂町
"	経営部門	1等	宮崎亮(五ヶ瀬町)茶業中央会長賞
葉たばこ共進会		3等	有藤喜寿(高千穂町)

第2回西臼杵地域たい肥品評会・散布実演会

昨年度に引き続き第2回目の『たい肥品評会』と『たい肥散布実演会』を2月23日に日之影町において開催しました。(主催:西臼杵地域良質たい肥生産流通促進協議会、共催:西臼杵農業改良普及センター)(生産者、関係機関等約70名参加)

西臼杵地域には、牛を中心とする畜産から生産される、たい肥資源が豊富にあります。狭小なほ場条件等のため、たい肥の散布体制の確立が進んでいないのが現状です。このため、良質たい肥の生産と利用を進めるために、たい肥の品評会と狭小なほ場でも作業可能な小型機械によるたい肥散布実演会を開催しました。

たい肥品評会には、畜産農家21点、耕種農家2点の合計23点(耕種農家2点は参考出品)が出品され、成分分析、官能検査、発芽試験結果等を基に、以下のとおり受賞者が決まりました。

【最優秀賞、普及協力所長賞】甲斐直さん(日之影)

【優秀賞、NOSA賞】岩田照代さん(日之影)

甲斐令之朗さん(日之影)、佐藤春男さん(高千穂)



たい肥品評会で最優秀賞を受賞した甲斐直さん(日之影町)



J A 高千穂地区宮水野菜集荷場近くのほ場にて、メーカ4社より計6台の散布実演及び展示を実施

完熟きんかん「たまたま」贈呈

J A 高千穂地区きんかん部会(佐藤智明部会長)から支庁長にきんかん贈呈がありました。

高千穂地区のきんかんは、栽培面積も年々増加してきており、地域の基幹作物として定着してきています。3月末までの出荷を目指しています。



完熟きんかん「たまたま」。西臼杵は気温の日格差が大きいので果実の発色、食味がよく市場から高い評価を得ています。



きんかんを贈呈するJ A 高千穂地区きんかん部会の皆さん(2月7日)

西臼杵地区山火事防止パレード

県では、「火の用心 森の恵みを未来まで」を統一テーマに「林野火災予防運動」(1月30日-2月5日)を実施し、その一環として2月2日に、宮崎北部森林管理署、西臼杵森林組合、西臼杵3町とともにパレードを実施しました。



公用車に「山火事注意」のステッカーを貼って、音声テープによる広報活動を行いました。

元気みやざき県民運動 サポーターの集い

県では、今年度から新しい総合長期計画「元気みやざき創造計画」をスタートさせ、この計画に基づき『元気みやざき県民運動』(「健康」、「環境」、「地域みまもり」の3つの運動)を展開しています。

この県民運動のサポーターの研修会として、西臼杵地区の「サポーターの集い」を開催し、109人が参加されました。

集いでは、「健康みやざきサポーター」の日吉眞理子さん(健康運動指導士)、「環境みやざきサポーター」の外山與子さん(NPO法人みやざき子ども文化センター代表理事)、「地域みまもりサポーター」の初鹿野聡さん(NPO法人きよたけ郷ハート理事)の具体的な活動の発表が行われました。

2月末現在で西臼杵地区のサポーターの数は、409人(県全体で5,874人)です。

サポーターの申し込みは随時受付しています。

サポーターとは、「元気みやざき県民運動」の応援団で、県民運動の取組を、自分のできる範囲で、できることから実践していただく人のことです。リーダー養成を目的とするものではなく、特別な義務もありません。



健康サポーターの取組の紹介では、簡単にできる体操の紹介もありました。(2月21日、国民宿舎「高千穂荘」)

県障害者スポーツ賞優秀選手賞受賞

2月16日

平成17年度県障害者スポーツ賞優秀選手賞に高千穂町向山の飯干順子さんが選ばれ、県庁講堂で授賞式が行われました。

飯干さんは昨年11月に岡山県で開催された「第5回全国障害者スポーツ大会」に本県代表として出場し、立ち幅跳び(視覚障害の部)で金メダル(記録は1m86)、ソフトボール投げ(同)で銀メダル(記録は25m83、大会新)と大活躍したことが認められました。



安藤知事から表彰を受ける飯干順子さん

中国^{しんせん}深土川の小・中学生と交流

2月3～4日

県とみやざき観光コンベンション協会が取り組んでいる中国からの修学旅行誘致活動の成果として、中国深圳市から卓球愛好少年団が高千穂を訪問しました。高千穂町、町観光協会、旅館組合、高千穂小学校等の協力をいただき実施しました。

2月3日は高千穂小学校において歓迎セレモニーが行われ、翌日は交流会として高千穂からは夜神楽、剣道の披露を行い、中国からは卓球の披露が行われるなど交流を深めました。



記念植樹(右は野尻 握手をしてからプレゼントを贈呈。(左側高千穂小学校校長) が中国の小中学生)

おもてなしの里山づくり勉強会

2月3日

高千穂町観光協会滞在型観光開発特別委員会は、全日空執行役員客室本部長の山内純子さん(延岡市出身)を講師に招いて、「おもてなしの心」についての講演会を開催しました。

約150人が参加。

山内さんは「予測を超えるサービス」の行動基準として、スマイル、スマート、スピーディー、シンシアリティ、スタディー、スペシャリティの頭文字を取って6つの「S」を紹介。

また、接客する上でアイコンタクトの重要性を教えていただきました。



講師の山内純子さん(国民宿舎「高千穂荘」)



中国の小中学生と交流会に参加した高千穂小学生との記念撮影(平成18年2月4日、高千穂小学校体育館)

西臼杵支庁だより

神話の高千穂建国まつり

2月1日



西臼杵支庁からも25名が家族とともに神様になり、パレードに参加しました。



西臼杵支庁総務課の臨時職員山本円さんは、前夜祭で「木花開耶姫」(このはなさ(やひめ))に選ばれ、パレードの大役を果たしました。

編集後記

元気みやざき県民運動「サポーターの集い」が開催されました。サポーターとは指導者ではなく実践者です。強制ではなく、止めることも自由。型にはめずに自由に活動できる県民運動です。健康みやざきサポーターの取組の説明の中で、「33散歩(サンサンサンポ)」「週3回、1日30分外に出て歩きましょう」の紹介がありました。私も、健康・環境・地域みまりのサポーターなので、意識改革して運動や節電、割箸を使わない等、できることから始めたいと思います。皆さん、サポーターになって活動しましょう。修

* 西臼杵支庁の業務等について、ご意見、ご要望などがありましたら下記までご連絡ください。

お問い合わせ先

宮崎県 西臼杵支庁 総務課
TEL 0982(72)2181 FAX 0982(72)3760
URL http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/chiiki/shityoson/nishiusuki_shityo/index.html